FROM KANSAI

大大阪 モダン建築を歩く

屋上で花開いた前衛アート

船場ビルディング（1925年）

繊維産業が集積する「糸へんの街」として、大阪の繁栄を牽引してきた船場。日本最大の都市「大大阪」誕生に沸く大正14（1925）年、木造商家が並ぶこの街の一角に、船場の名を冠した5階建てのオフィスビルが完成した。「船場ビルディング」。職住一体を目指した当時最先端のこのビルには、繊維業者だけでなく広告デザインを扱う印刷所も入居し、モダンアートの発信拠点となった。移り変わりの激しい船場の地で、築100年を超えた今もなお、入居待ちが絶えないという老舗ビルを訪ねた。（荒木利宏、写真も）

息がつけるスポット

都心の高層ビルやタワーマンションを仰ぎ見ながら歩く途中、レトロ建築に出くわすと、どこかホッと息がつける気持ちになる。船場ビルディングはそんなスポットのひとつだ。

正面に回ると、柱のように突き出した外壁を飾る茶色いタイルが印象に残る。「柱」のてっぺんには三角形の突起のような意匠が並び、外観のアクセントになっている。

「三角形の部分は照明を設置するための台として使われていたのではないでしょうか」

そう推測するのは、ビルを管理する桃井商事取締役の藤本恒子さん。竣工当時はライトアップされていたこともあったのだろうかと想像が膨らむ。

今も入居希望絶えず

一歩足を踏み入れると、内部の奥行きが深いことに気づく。伝統的な町家にみられる「ウナギの寝床」を思わせるつくりだ。

しかし緩やかなスロープを進んだ先には、陰影に満ちた空間ではなく外光がふんだんに差し込むパティオ（中庭）が広がっていた。細長い吹き抜けを囲むように各部屋が配置され、2階以上には回廊が巡る。採光や通風を狙う中庭を軸に設計されたような、外観からは想像もつかない開放的な空間だ。

中庭の床をよく見ると、木の年輪が刻まれたブロックが敷き詰められていた。

「これは木レンガと呼ばれる建材で、搬入作業のために中庭に出入りする荷馬車の騒音を抑えるために取り入れたそうです」。藤本さんはそう説明する。

木レンガは、2年前に真新しいものに張り替えられた。中庭は構造上、風や雨で劣化が進みやすいため、防腐処理を施した特注の木レンガ4200個を敷き詰めた。その落ち着いた色合いはベンチや観葉植物とともに、癒やしの空間を演出している。

こうした唯一無二の雰囲気に引かれ、入居を希望する人は後を絶たない。約80の賃室は満室で、空き室待ちが常態化するほどの人気ぶり。士業やインテリア、ウェブ関係など、テナントの顔ぶれも多種多様だという。

藤本さんは「ビルの維持管理は決して楽ではありませんが、次の100年、この建物をつないでいけるように努力したい」と語る。

熱気伝える舞台に

かつて船場ビルディングの屋上は、大大阪時代の雰囲気を伝えるモダンアートの舞台にもなった。大阪を拠点に活動した版画家、前田藤四郎（1904～90年）の作品「屋上運動」だ。

昭和6（1931）年制作のこの作品では、屋上で球技を楽しむ4人の女性の姿が前衛的なタッチで表現されている。

背景には、十五銀行大阪支店のドーム屋根や、同年完成の綿業会館を思わせる建物が登場。前田は最上階にあった印刷所「青雲社」にデザイナーとして勤務しており、船場ビルディングの屋上を舞台にした作品をいくつか手がけた。

当時、ビルにはエレベーターガールやタイピスト、電話交換手が配置されていたという。手足を思い切り伸ばして躍動する女性たちの姿には、社会進出を果たす「職業婦人」が台頭し始めた時代の熱気が投影されているのだろう。

今では周囲を高層ビルに囲まれ、昭和モダンの時代の面影は薄れつつあるが、屋上に整えられた庭園は訪れる人の憩いの場になっている。

㊤装飾を抑えた外観の船場ビルディング
㊨4階から中庭を見下ろす。4階の鉄製の手すりと他の階の木製の手すりとのコントラストが印象的だ
㊦開放的な吹き抜けが広がる中庭。床には木レンガが敷き詰められている
＝いずれも大阪市中央区

前田藤四郎《屋上運動》1931年 大阪中之島美術館／DNPartcom提供）

船場ビルディング所蔵の屋上でのスナップ写真。昭和初期の撮影とみられ、奥に十五銀行大阪支店のドーム屋根が見える

■船場ビルディング
- 大阪市中央区淡路町2の5の8
- 竣工　大正14（1925）年
- 構造　鉄筋コンクリート造り（地上5階、地下1階）
- 設計　村上徹一
- 国登録有形文化財
- 見学は平日午前9時～午後5時、要事前予約。（06・6231・8531）

第8回 兵庫県立がんセンター地域公開講座 一般の方・医療関係者対象
がんセンターにおける最新の大腸がん治療
日時 7/25（土） 14:00～16:00（開場13:30）
入場料無料
会場｜加古川市総合福祉会館 2階大ホール【定員120名】 申込期限：7/21（火）
講演1 大腸腫瘍に対する内視鏡治療の役割 兵庫県立がんセンター 消化器内科部長 山本 佳宣
講演2 大腸がんに対するロボット支援手術 兵庫県立がんセンター 消化器外科部長 山岡 雄祐
講演3 大腸がん最新の抗がん剤治療について 兵庫県立がんセンター 消化器内科部長 武川 直樹
【申込方法】右の二次元コードから参加登録、又はメール・FAX・電話のいずれかにより、下記の問合せ先へお申し込みください
問合せ先｜兵庫県立がんセンター総務課 地域公開講座事務局 メール jimukyoku@hyogo-ganshinryo.jp FAX 078-929-2380 TEL 078-929-1151代

売却査定 買取 任意売却
「成功する売却」をご家族のために しっかりとサポートいたします。
相続・建築・空き家管理など幅広くご相談をお受けしております。特に、相続した不動産や遠方の別荘地など、無料で調査し売却のお手伝いもさせていただきます。多彩な資格をもつ代表が、軽いフットワークで対応いたします。お気軽にお問い合わせください。
代表取締役 宮脇 元宏
宅地建物取引士、相続士、終活士、円満相続遺言支援士、賃貸不動産経営管理士、住宅ローンアドバイザー、インスペクションアドバイザー、損害保険募集人資格、公認不動産コンサルティングマスター、任意売却取扱主任者、古民家鑑定士、土地活用プランナー、マンションリノベーションアドバイザー
株式会社 ホーム・ストーリー Home Story 兵庫県知事免許(4)第2039798号
西宮市「甲陽園駅」すぐ 姉妹店・㈱オプジェでもご相談を承っております。
尾崎市塚口本町1丁目9番1号 info@home-story.jp 0120-78-6003

留学生・滞在者募集中！
もっと日本が好きになる。先輩たちも楽しく笑顔で学んでいます！
地域と世界をつなぐ、新しい一歩。
SBC姫路日本語学院
HJLA SBC Himeji Japanese Language Academy
日本で生きる、働く。未来を創る学び。
長期でも。短期でも。あなたにピッタリの最適プラン！
多様なニーズに応える充実のカリキュラム：進学、実用日本語。
姫路で学ぶ、新しい自分に。
実践重視での教育で自立をサポート。
✓経験豊富な講師陣 ✓実用ビジネス日本語
✓進学サポート ✓生活サポート相談
✓日本語能力試験対策 ✓好立地でアクセス良好
学校見学 随時受付中！
CONTACT US
お問い合わせ：079-240-6474
メール：hjla@jl-acad.com
https://jl-acad.com/
アクセス：〒670-0952 兵庫県姫路市南条425